

## 2018年度活動報告

### ①第9回通常総会開催・全3議案を可決

5月26日、大津市のピアザ淡海に於いて、第9回通常総会を開催しました。

18名の会員が出席し、委任出席5名、書面議決書19名、合計42名（会員総数63名）で、事業報告、活動方針、収支計画・予算、役員選任など、議案すべてを賛成多数で可決しました。

役員改選後、第8期第1回理事会では、理事長に土井裕明氏（再任）、副理事長には馬殿貞爾氏（再任）と市村あつさん（再任）が就任しました。



総会会場の様子



県民活動生活課土井課長  
(左)、KC's の  
袋井氏からのご祝辞



### ②「誰一人取り残さない」消費者月間セミナーを開催

5月26日、大津市のピアザ淡海に於いて、消費者月間（5月）のメインスローガン「ともに築こう豊かな消費社会～誰一人取り残さない～」をテーマとしたセミナーを滋賀県と共に開催し、52名が参加しました。

映画「0円キッチン～食材救出人のおいしい旅路～」を鑑賞し、ヨーロッパ5カ国の旅路で、捨てられる食材を救い出し、おいしい料理をつくり、食の現在と未来を照らし出す姿を追いました。基調講演では、認定NPO法人フードバンク関西の浅葉めぐみ代表から「フードバンクってなに？」をテーマに、日本の食品ロス632万トン（2015年度推計）という現状とその内訳、食品流通関連企業からの食品ロス100万トンの発生要因と“賞味期限”的設定や商品管理上の仕組みについて解説され、食品ロスの現状について学びました。また、毎日の食べ物に困っている人たちと、食べられるのに廃棄され食品ロスとなる仕組みの矛盾を解決し、つないでいく「フードバンク関西」の活動について学び、“エシカル消費”をすすめていくことを参加者らと共有しました。



消費者月間セミナー 会場の様子（左）、浅葉さんの講演



### ③「県消費者被害防止共同キャンペーン」（9/1～11/30）との連携・参加

消費者被害防止の共同キャンペーンのスタートに伴い、9月21日の出勤・通学の時間帯にJR石山駅前で街頭啓発を行いました。県生協連、消費者ネット・しが、滋賀県県民活動生活課、滋賀県消費生活センター、大津市、滋賀県警などが参加し、消費者被害の未然防止を呼びかけ、消費者ホットラインの「188」ダイヤルを広報しました。



街頭啓発の参加者

### ④「滋賀県消費生活フェスタ」に参加

消費者問題の啓発事業の一環として、9月17日に滋賀県が主催する「消費生活フェスタ」に参加しました。

彦根市の商業施設で毎年恒例のイベントとして開催され、消費者ネット・しがは“健康食品を飲んでいますか？”をテーマにブース出展し、アンケート調査とクイズを出題し、来場者に健康食品の表示や宣伝が及ぼす消費者問題について啓発活動を行いました。あわせて安全・安心な消費生活をおくることと消費者被害の未然防止を呼びかけました。



出展ブースの様子

## ⑤「みんなで考える情報モラルとコミュニケーション LINEについての学習会」の開催



LINE Pay(株)とLINE(株)の講師

SNSの一環として普及した「LINE」アプリケーションは、利用者が2014年には世界で5億人を超えて急速に広がりました。利用者同士の無料通話や、暮らし、防災などの情報交換ツールとして合理的な機能を備える一方、LINEサービス以外の掲示板・サイト・アプリなどを通じてLINE\_IDが交換されて消費者被害に遭うケースや、チャット機能での“いじめ問題”など、社会問題化する一面もあります。このサービスを提供するLINE株式会社では、講師を派遣して情報モラルを普及する

「LINE講習会」を実施しており、消費者ネット・しがにおいても講師を招聘して11月17日、滋賀弁護士会館において学習会を開催しました。学習会では、ゲームを通じて情報交換のマナーを学習するなど、多様化する情報化社会でのモラルについて参加者の皆さんと共に共有化しました。

## ⑥滋賀県内大学生協学生委員への消費者問題学習会を開催

11月9日（金）に滋賀大大津生協の会議室において大学生への消費者問題学習会を開催しました。

学生が狙われやすい悪質商法（キャッチセールス、アポイントメントセールス、マルチ商法、架空請求等）について説明するとともに知識を得られるよう最近のトラブルを例に学習しました。

また、契約をした場合などの対応策としてクーリングオフ等についても具体的に説明することで学生自身が悪質商法の被害を未然に防げるよう学習しました。



学習会の様子

## ⑦消費者教育フォーラム in 滋賀に参加

2月13日（水）、ピアザ淡海3階大会議室において消費者教育フォーラムin滋賀が開催され、消費者ネット・しがからも6名が参加しました。フォーラムでは「成年年齢引き下げを踏まえた消費者教育の推進について」をテーマに相山女学園大学 教授 東珠実氏の講演があり、その後、「みんなで応援！若年者への消費者教育～“社会への扉”を活用した学校と地域との連携による消費者教育～」をテーマに高等学校の教諭や関係者によるパネルディスカッションが行われました。

成年年齢が下がることで消費者トラブルの増加や低年齢化が心配されています。若年者への消費者教育の推進について具体的に考え、行動することが必要と共有しました。



消費者教育フォーラムの様子

## ⑧消費者支援機構関西(KC's)と消費者問題について連携した活動をすすめました。

特定適格消費者団体の消費者支援機構関西(KC's)と、主に健康食品の企業に関する調査・研究を行い、問題があると思われるweb上の表記や宣伝について、事業者への問い合わせや意見交換を行い、適切な表示をするよう申入れを行いました。

## ⑨ホームページ・メルマガによる広報を行いました。

年間を通してホームページ・メルマガによる活動の広報や会員の募集を行っています。

NPO法人消費者ネット・しがホームページ

[Http://www.syohisyanet-shiga.jp/](http://www.syohisyanet-shiga.jp/)

# 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

特定非営利活動法人 消費者ネットしが  
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日

## 《経常収支の部》

### 【経常収支の部】

#### 【経常収入】

正会員会費収入	421,000
受取利息収入	3
経常収入 計	<u>421,003</u>

#### 【事業費】

旅費交通費(事業)	16,940
消耗 品費(事業)	4,590
印刷製本費(事業)	6,216
通信 費(事業)	30,816
保険 料(事業)	1,680
会議 費(事業)	127,693
雜 費(事業)	3,024
当期事業費 計	<u>190,959</u>
合 計	<u>190,959</u>
事業費 計	<u>190,959</u>

#### 【管理費】

通信 費	17,178
ホームページ管理費	29,676
旅費交通費	28,300
会議 費	14,419
消耗 品費	12,688
印刷製本費	3,075
諸 会 費	22,000
雜 費	1,904
管理費 計	<u>129,240</u>
経常収支差額	<u>100,804</u>

### 【その他資金収支の部】

#### 【その他資金収入】

その他資金収入 計	0
-----------	---

#### 【その他資金支出】

その他資金支出 計	0
-----------	---

#### 当期収支差額

前期繰越収支差額	100,804
次期繰越収支差額	<u>346,301</u>
	<u>447,105</u>

## 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 消費者ネットしが  
全事業所

[税込] (単位:円)

2019年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		流動負債 計	
普通 預金	447,105		0
現金・預金 計	447,105		
流動資産合計	447,105		
		<b>正味財産の部合計</b>	
			447,105
<b>資産の部合計</b>		<b>負債と正味財産の部合計</b>	
	447,105		447,105
<b>【正味財産】</b>		<b>【正味財産】</b>	
正味 財産		正味 財産	
(うち当期正味財産増加額)		447,105	
正味財産 計		100,804	
		447,105	
<b>正味財産の部合計</b>		<b>正味財産の部合計</b>	
			447,105

## 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 消費者ネットしが  
全事業所

[税込] (単位 : 円)

2019年 3月31日 現在

### 《資産の部》

#### 【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

現金・預金 計

流動資産合計

資産の部 合計

447,105

447,105

447,105

447,105

### 《負債の部》

#### 【流動負債】

流動負債 計

負債の部 合計

0

0

正味財産

447,105

447,105